



対馬の石塔① ～「一所懸命」を貫いた対馬の武士～

今月号から3か月にわたって、対馬の石塔についてご紹介します。

石塔とは、もともと仏舎利（お釈迦様の遺骨）を安置するため、石を加工して作った供養塔です。時代が下るにつれ、故人を葬るための墓標や、祖先を顕彰し自家のアイデンティティを示すシンボルとしての性格を帯びるようになります。

対馬の石塔は、島内46か所に約100基が存在すると言われています。主に南北朝～室町時代（14～16世紀）に建塔された石塔が多数を占め、対馬の西海岸に集中していることが特徴です。

その中で、元寇の際、元・高麗の軍と奮戦の末戦死した島主・宗資国をはじめとする対馬の武士たちの墓とされる石塔が島内に存在します。資国の墓と伝わる石塔は「御首塚」（厳原町下原）と「御胴塚」（同町榎根）とが離れて存在し、壮絶な戦いを物語っています。また「越前五郎の墓」（美津島町加志）や「宗甲斐六郎の墓」（峰町吉田）と伝わる石塔も、島内の郡司が各地で元軍と戦った話とともに現在まで残されています。

これらの石塔は、石質・形態から、鎌倉時代当時に建塔されたものではなく、後世の南北朝・室町時代の建塔と考えられています。もしかしたら元寇以降の時代の人々が、鎌倉武士たちの事績を偲んで建塔したものではないでしょうか。

現代まで残るこのような石塔からは、領民を守るために「一所懸命」を貫き散った対馬の武士たちの足跡と、彼らへの島民の感謝と誇りが窺えます。



元寇の言い伝えが残る対馬の石塔

些細なことでもかまいませんので、疑問や質問がありましたらお気軽にお尋ねください。

あんによん！韓国語

問い合わせ

観光交流商工課

☎0920(53)6111

上対馬振興部 地域振興課

☎0920(86)3111

韓国選挙の特徴

このコーナーでは毎月、生活に使える韓国語のフレーズをテーマに沿って紹介していますが、今回は韓国の文化をコラム形式で紹介します。

みなさん、アンニョンハセヨ！今日は先月に続いて韓国選挙の特徴「選挙ソング」についてお話ししたいと思います。

韓国選挙といえば「選挙ソング」です。選挙ソングは耳に残りやすい音楽や流行りの曲に候補者の名前と記号を入れて替え歌にした曲のことで、有権者にイメージを残せる選挙戦略の一つの手段です。

このような選挙ソングは1995年選挙法が改正されて街宣車などから拡声器を使って音楽を流すことが可能になってから本格的に使われるようになりました。その後、1997年第15代大統領選挙の際使われた曲が大ヒットし、候補者のイメージアップにつなげるなどで選挙ソングは必要不可欠な存在になりました。

この選挙ソングの使用にはお金が必要で、選挙の種類によって金額が異なりますが、大統領選挙の場合一曲あたり200万ウォンで、製作費などを加えたら金額はさらに高くなります。

また、曲を使うためには事前に申し込みする必要があります。ちなみに今回の選挙のために、ある候補者は12曲も使いました。

もちろん街頭演説や討論も行われますが、街宣車でインパクトのある曲を流すことにより記憶に残ることもあります。

このような韓国の選挙は音楽と簡単な振り付けで明るくて楽しい雰囲気で行われています！



対馬市国際交流員

キム スミン
金 秀珉



令和7年7月末をもって島おこし協働隊員が退任します



たちばんだ

橘田 ゆかり ミッション名: 北部対馬活性化プランナー
着任日: 令和4年8月1日 退任日: 令和7年7月31日

こんにちは。島おこし協働隊・北部対馬活性化プランナーの橘田です。2022年に対馬へ移住してから、気づけばあっという間に3年が経ち、このたび7月末をもって任期満了を迎えることとなりました。

家族での移住というかたちだったこともあり、対馬での子育てを通して、生活・自然・地域のつながりなど、さまざまな視点からこの島の魅力や課題に触れることができました。移住前には想像もしていなかったような貴重な経験の数々をさせていただき、自身の企画も含め、多様な挑戦に取り組むことができました。観光関連では、観光物産協会での窓口対応「比田勝おさんぽマップ」の作成、観光PR活動、英語/スペイン語での観光ガイド、Googleマップへの情報登録などを行ってきました。子育て支援の分野では「つしま森の教室」を計13回開催。子どもたちと一緒に、対馬の豊かな自然の中で学び、遊び、つながる場をつくってきました。

退任後も拠点是对馬のまま、対馬の豊かな自然の中で「世界」と「自然」をキーワードに「国境の島から世界とつながる暮らし」を形にしていきたいと考えています。これまで活動を続けることができたのは、地域の皆さんや関係者の皆さんのあたたかなご協力と応援があつてこそです。3年間ありがとうございました。

たすけあい通信 Vol.93



問い合わせ 対馬市社会福祉協議会 ☎0920(58)1432
対馬市長寿介護課 ☎0920(58)1118

生活支援コーディネーター事業説明会

私たち生活支援コーディネーターは、住民の助け合い活動の推進の一環として、各町の区長、民生委員・児童委員の方々を対象に生活支援コーディネーター事業説明会を実施しています。5月16日には厳原町、5月26日には美津島町で開催しましたのでその内容をご報告します。

厳原町では36人、美津島町では21人の方々にお越しいただき、助け合い活動が必要となってきた現状の理解を深め、助け合いゲームの体験、中圏域で取り組まれている移動外出支援の取組動画をご覧いただきました。また、説明会後のアンケートで「お住まいの地区で、助け合い活動に取り組んでみたいと思いますか?」という設問に対し「ぜひ取り組んでみたい」と回答いただいた地区については、今後、直接お伺いして取り組みのお手伝いをさせていただく計画としています。

これからも、地域の助け合い・支え合いづくりの輪を広めていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

第2層生活支援コーディネーター (下圏域担当) 小島



ゲームをとおして助け合い活動を体験していただきました



移動支援の活動に興味津々

国民年金保険料免除などの申請について

保険料が納め忘れの状態で、万一、障がいや死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。

令和7年度分（令和7年7月分から令和8年6月分まで）の免除などの受付が7月から始まっています。経済的な理由などで国民年金保険料を納付することが困難な場合には、保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「納付猶予制度（50歳未満）」がありますので、市役所年金窓口で手続きをしてください。

また、申請時点の2年1か月前の月分までさかのぼって申請することができますので、失業などにより保険料を納付することが経済的に困難になったものの、申請を忘れていた期間がある方は、失業した証明（雇用保険被保険者離職票など）を持参のうえ、市役所年金窓口または年金事務所へご相談ください。



長崎北年金事務所の出張年金相談

- と き 8月20日(水) 14:00～17:00
ところ 中対馬振興部
- と き 8月21日(木) 9:00～15:00
ところ 上対馬総合センター

★年金相談は予約制です。相談時間枠には限りがありますので、お客様のご希望に添えない場合もございます。

★予約受付期限 8月15日(金)
★予約先 ☎095(861)1354

要チェック! 消費者トラブルに巻き込まれる前に 対馬市消費生活相談所だより

問い合わせ
対馬市消費生活相談所 ☎0920(52)8322
長崎県消費生活センター ☎095(824)0999

文化祭・体育祭の当日になっても届かない?!

～「クラスTシャツ」トラブルに注意～



【相談事例】学校に届いたパンフレットを見て、文化祭で使用するクラスTシャツを1枚2,000円で34枚注文した。事業者とは無料通話アプリでやり取りをして、注文から10～14日以内に発送され、代金は到着後に支払う約束だった。ところが、文化祭当日になっても商品が届かず、何度も事業者にメッセージを送ったが返事はなかった。パンフレットには事業者の所在地、連絡先は記載されていなかった。結局、クラスTシャツは届かず、当日に着ることはできなかった。

【消費者へのアドバイス】注文前に、事業者のカatalogやWebサイトを見て、住所・連絡先・キャンセル条件などを確認しましょう。発送予定日を確認し、余裕をもって注文しましょう。また、実在する企業やスポーツチームなどのロゴが入ったTシャツのデザインがコピー商品に該当していないかよく確認しましょう。注文する前に先生や保護者などにも確認してもらいましょう。



事業者の情報がどこに書いてあるかわからない時は、Webの場合は「特定商取引法に基づく表記」などのページに記載されていることが多いので、注文前に確認しましょう。困った時は、対馬市消費生活相談所に相談してください。



みんなで取り組もうSDGs

問い合わせ
SDGs戦略課
☎0920(53)6111

沖縄県竹富町と「ブルーアイランド共同宣言」を発信

大阪・関西万博ブルーオーシャン・ドーム「対馬ウィーク」の最終日（6月22日）、友好都市である沖縄県竹富町とともに「ブルーアイランド共同宣言」を発信しました。

対馬市と竹富町は平成28年7月7日に友好都市協定を締結して以来、ヤマネコを自然の豊かさの象徴として相互交流し、生物および文化の多様性の保全と持続的な発展に努めてきました。両島はともに美しく豊かな海で囲まれています。その海が危機に瀕しています。地球規模での環境問題が深刻化し、海洋プラスチック汚染、海藻や海草の消失、海面上昇など、共通の海の社会課題に直面しています。

そこで、両島では「海の蘇生」をテーマとするブルーオーシャン・ドームにおいて、海の社会課題と今後の方向を共有した上で、対馬ウィークのレガシーとして、国内外に対して共同宣言を発信し、地域、国同士の団結と行動を呼びかけました。

来年の7月、友好都市締結10周年を迎えます。海の分野での「連携と交流」をさらに強化し、SDGsゴール14「海の豊かさを守ろう」の達成に向け、取り組みを発展させていきたいと思っています。



ブルーアイランド共同宣言を発信する、前泊正人竹富町長と比田勝市長。対馬野生生物保護センター勤務経験があり、ツシマヤマネコとイリオモテヤマネコ並びに海の保全に詳しい山本以智人環境省国立公園保護管理企画官（奄美群島国立公園管理事務所）が立会



共同宣言の様子はブルーオーシャン・ドームのYouTubeチャンネルでご覧いただけます



問い合わせ
つしま図書館
☎0920(52)3900

『読書感想文全国コンクール』『長崎県読書感想文コンクール』の課題図書を準備しています。予約・貸出はできますが、貸出期間の延長はできませんのでご注意ください。

8月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

新刊



一般書

13歳からの国際情勢

(扶桑社)

島根 玲子/著

現役外交官が世界のニュースを「そもそも」から解説する一冊です。国際問題の背景をわかりやすく説明し、ニュースの理解を深める助けをします。大人も子どもも楽しめる内容です。

新刊



児童書

嘘と隣人

(文藝春秋)

芦沢 央/著

定年退職した元刑事が主人公の連作短編集。日常に潜む違和感や静かな悪意が、やがて嘘となり、人間関係に亀裂を生む様子を描く。心理戦と現代社会の問題が交錯するミステリーです。

新刊



児童書

マインクラフト／ザ・ムービー

(技術評論社) Mojang AB/著

ディヴィッド・リューマン/翻訳
牛原 真弓、小林 真弓/訳

大人気ゲーム「マインクラフト」の世界を舞台にした公式ノベライズです。「オーバーワールド」に足を踏み入れた5人の冒険者が、ピグリンやゾンビなどのキャラクターと対峙します。

新刊



パンダのおさじとせっけんパンダ

(ポプラ社)

柴田 ケイコ/作

お風呂嫌いのもぐら・のんたが主人公の絵本です。せっけんパンダを湯につけると、小さなパンダの「おさじ」が登場し、魔法のような泡で体をピカピカに。お風呂の楽しさを伝える物語です。